

平成31年度 入学者選拔要項



旭川医科大学医学部

- 【医学科】 一般入試
- 【医学科】 AO入試国際医療人特別選抜
- 【医学科】 AO入試北海道特別選抜
- 【医学科】 推薦入試道北・道東特別選抜

- 【看護学科】 一般入試
- 【看護学科】 推薦入試

- 【医学科】 私費外国人留学生入試
- 【看護学科】 私費外国人留学生入試

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

医師・看護職者としての適性とともに関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生

（具体的な学生像）

I. 『医師・看護職者としての適性』

- ① 病める人に限らず、他者を思いやる心を持つ学生
- ② 人命に限らず、全ての生命の尊厳を理解し、社会的規範・道徳に沿って、自らの行動を律することのできる学生
- ③ 他者を尊重し、良好な関係を築くことのできる社会的能力を持つ学生
- ④ 幅広い分野の教養を身につける努力をしている学生
- ⑤ 最新の知識や技術を身につけるため、学習し続ける学生

II. 『地域社会への関心』

- ① 自らの居住地及びその住民に対して愛着を持つ学生
- ② 広い地域（北海道や他の都府県、国、世界レベル）の事柄に対して関心を持つ学生
- ③ 医療に限らず、広く地域社会一般の事象に対して関心を持つ学生

III. 『自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力』

- ① 新たな事象に対して、自ら持つ知識・技術を独創的な視点から論理的に応用し、自らにとって未知の問題点を抽出できる学生
- ② 未知の問題点を解決するために行動し、新たに学ぶことのできる学生
- ③ 豊富な知識量のみならず、他の領域への応用など、自らの持つ知識を活用することのできる学生

【入学前に身につけて欲しい能力等】

医学科

- 1 将来医師として、他者に配慮し、自らの行動を律して社会で活動する強い志（「態度」「意欲・関心」）
医師として他の医療職者と協働し、多様な患者さんの診療に従事できるようになるために必要なチーム活動能力、協調性、行動力、意欲
- 2 学んだ知識や技能を論理的に応用して未知の事象を判断し、問題を見つけ解決する能力（「思考・判断」）
自ら学んだ知識・技能を活用するために必要な論理的思考・判断力、応用力、問題抽出力、口頭・文章表現力
- 3 新たな知識や技能を学び続け、身に付ける能力（「知識・技能」）
幅広い分野の最新の知識・技能を身に付けるため、努力し続ける能力

看護学科

- 1 将来看護師、保健師あるいは助産師として、他者に配慮し、自らの行動を律して社会で活動する強い志（「姿勢・態度」「意欲・関心」）
看護師、保健師あるいは助産師として他の医療職者と協働し、多様な人々の看護に従事できるようになるために必要なチーム活動能力、協調性、行動力、意欲
- 2 学んだ知識や技能を論理的に応用して問題を見つけ解決する能力、及び自らの考えを適切に他者に伝える能力（「思考・判断」「表現」）
自ら学んだ知識・技能を活用するために必要な論理的思考・判断力、応用力、問題抽出力、口頭・文章表現力
- 3 新たな知識や技能を学び続け、身に付ける能力（「知識・技能」）
幅広い分野の最新の知識・技能を身に付けるため、努力し続ける能力

高等学校等までの各教科において、医学・看護学を学ぶために必要な幅広い基礎学力と応用力、とりわけ以下の能力を身につけていることを望みます。

1. 国語については、良好な人間関係を形成するために、日本語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること
2. 地理歴史・公民については、一般社会において主体的に生きるために、良識ある公民として行動できること
3. 数学については、基礎的知識の理解と習得に加え、身の回りの事象を数学的に表現して考察するとともに数学的論拠に基づいて判断できること
4. 理科については、身の回りの事象を自らの知識に基づいて科学的に判断するために、広く自然科学全般について深く洞察できること
5. 英語については、国際社会の人々と良好な人間関係を形成するために、英語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること

本学のアドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づいて定めております。

本学の教育目標・教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、本学WEBサイト（裏表紙参照）又は大学案内を参照してください。

目次

1	入学定員・入試区分・募集人員・入試日程	1
2	一般入試（医学科）	2
3	AO入試国際医療人特別選抜（医学科）	4
4	AO入試北海道特別選抜（医学科）	6
5	推薦入試道北・道東特別選抜（医学科）	8
6	一般入試（看護学科）	10
7	推薦入試（看護学科）	12
8	私費外国人留学生入試（医学科）	13
9	私費外国人留学生入試（看護学科）	14
10	参考	15

入学定員・入試区分・募集人員・入試日程

1. 入学定員・入試区分・募集人員

(名)

学科	入学定員	募集人員						私費外国人留学生入試
		一般入試		AO入試		推薦入試		
		前期日程	後期日程	国際医療人特別選抜	北海道特別選抜	道北・道東特別選抜		
医学科	107	40	15	5	37	10	—	若干
看護学科	60	40	10	—	—	—	10	若干
合計	167	80	25	5	37	10	10	

【注意事項】

- 一般入試は、入学定員を分割し前期日程及び後期日程の両試験日程でそれぞれ入学者を募集する分離分割方式で実施します。
- AO入試国際医療人特別選抜、AO入試北海道特別選抜、推薦入試道北・道東特別選抜、推薦入試において合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試の前期日程の募集人員に加えます。
- 私費外国人留学生入試の募集人員は前期日程に含まれます。

2. 入試日程

	入試区分	出願期間	試験日	合格発表日時
医学科	一般入試（前期日程）	平成31年 1月28日(月) ～平成31年 2月 6日(水)	平成31年 2月25日(月) 26日(火)	平成31年 3月 7日(木) 10:00
	一般入試（後期日程）	平成31年 1月28日(月) ～平成31年 2月 6日(水)	平成31年 3月12日(火)	平成31年 3月20日(水) 17:00
	私費外国人留学生入試	平成31年 1月21日(月) ～平成31年 1月25日(金)	平成31年 2月25日(月)	平成31年 3月 7日(木) 10:00
	AO入試国際医療人特別選抜	平成30年10月15日(月) ～平成30年10月19日(金)	平成30年11月24日(土)	平成31年 2月13日(水) 17:00
	AO入試北海道特別選抜	平成30年 9月25日(火) ～平成30年10月 1日(月)	平成30年10月27日(土) 28日(日)	平成31年 2月13日(水) 17:00
	推薦入試道北・道東特別選抜	平成30年11月 1日(木) ～平成30年11月 7日(水)	平成30年11月24日(土)	平成31年 2月13日(水) 17:00
看護学科	一般入試（前期日程）	平成31年 1月28日(月) ～平成31年 2月 6日(水)	平成31年 2月25日(月)	平成31年 3月 7日(木) 10:00
	一般入試（後期日程）	平成31年 1月28日(月) ～平成31年 2月 6日(水)	平成31年 3月12日(火)	平成31年 3月20日(水) 17:00
	私費外国人留学生入試	平成31年 1月21日(月) ～平成31年 1月25日(金)	平成31年 2月25日(月)	平成31年 3月 7日(木) 10:00
	推薦入試	平成30年11月 1日(木) ～平成30年11月 7日(水)	平成30年11月24日(土)	平成30年12月13日(木) 10:00

一般入試（医学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（次のア～カの一に該当する者）

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

※出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間開始の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、個別学力検査等を受験することはできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 一般入試出願受付後に、本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等の受験はできません。
- (6) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、平成31年度大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、平成31年度大学入試センター試験の成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入試センター試験の試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般入試受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般入試受験票を送付します。

※第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入試センター試験の配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

※合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数学	出題範囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
外国語	出題範囲	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う

※数学Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等			合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	数学	外国語	面接	
100	50	100	200	100	100	100	150	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
理科	出題範囲	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」の3科目から2科目選択
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う

※理科における2科目の受験科目は、試験当日に選択することになります。

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等		合計点
国語	地歴公民	数学	理科	外国語	理科	面接	
100	50	150	100	150	200	150	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

AO入試国際医療人特別選抜（医学科）

1. 趣旨

旭川医科大学は教育理念・目標に「教育、研究、医療活動を通じて国際社会の発展に寄与する医療人の養成」を掲げています。このコンセプトに沿って、以下のような人材の育成を特に推進するために、AO入試国際医療人特別選抜を実施します。この入試では、将来、国際医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

【旭川医科大学の育成する国際医療人】

①世界水準の医療を実践するため、国際社会で必要な語学力を修得し、臨床医として患者を診療・ケアできる能力 ②最先端医療・医学の研究を、国際学会等で報告し、論文として公表することを通じて医学の発展に寄与できる能力 ③世界の各地における地域医療の問題を抽出し、その解決のために医療のみならず保健・福祉も含めた地域医療を向上させる能力。これらの能力を向上させるため、かつ、旭川医科大学をグローバルに発展させるために、強い志を持ち生涯に亘って学習を続ける人材を求めます。

2. 出願資格及び要件

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（平成31年3月までに卒業見込みの者を含む。）*1で、平成31年度大学入学選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来、旭川医科大学の国際医療及び国際社会の医療に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.3以上*2の者で、高等学校等の学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名が医療職者になるにふさわしい人物であると評価できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「国際医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書(P17)」を提出できる者

*1 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

*2 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二学期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、すべての志願者を対象に、調査書、自己推薦書及び人物評価書の内容により第1次選考を行います。第1次選考合格者にもみ第2次選考として課題論文試験及び面接試験を実施し、第1次選考結果と併せて志願者の能力、国際医療に貢献する強い意欲及び適性等を総合的に審査し、判定します。

ただし、平成31年度大学入試センター試験を課し、本学の定める基準の85%（合計点1200点中1020点）以上であった者を選抜の対象とします。（大学入試センター試験は、選抜の対象にするか否かの判定のみに用います。）

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

第1次選考の結果は、平成30年11月12日（月）に合格者には受験票を、不合格者には不合格通知書を送付します。受験票もしくは不合格通知書が、平成30年11月19日（月）までに到着しない場合は、至急、本学入試課まで電話連絡してください。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
面接	口頭表現力、意欲、問題抽出力、知識・技能、応用力等を問う

●配点

課題論文	面接	総合点
300	600	900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	300	300	300	1200

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、面接の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) このAO入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部のAO入試及び推薦入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試北海道特別選抜との併願は可能です。なお、本学の推薦入試道北・道東特別選抜との併願は認められません。
- (3) 本学のAO入試北海道特別選抜と併願している場合は、AO入試国際医療人特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

AO入試北海道特別選抜（医学科）

1. 趣旨

北海道には医師が不足している地域が多く存在し、本学卒業生が道内に残って活躍することが道民から強く求められています。そこで、北海道の地域医療に関心を持ち、医師としての適性ととも、より本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿った北海道出身の学生に入学してもらいたいと願っています。

そのため、北海道の地域医療を理解し、将来北海道の医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することとし、意欲、能力、適性、将来性等の視点からAO入試北海道特別選抜を実施します。

2. 出願資格及び要件

北海道に所在する高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（平成31年3月までに卒業見込みの者を含む。）で、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*1}の者で、高等学校等の学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名が医療職者になるにふさわしい人物であると評価できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書(P18)」を提出できる者

*1 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、課題論文、集団面接、個人面接、平成31年度大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。ただし、大学入試センター試験の成績が本学の定める基準の75%（合計点1200点満点中900点）未満の場合は、不合格とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、チーム活動能力、協調性、意欲、知識・技能、応用力、実行力、行動力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

●配点

科目等			大学入試センター合計点	合計点
課題論文	集団面接	個人面接		
200	300	200	1200	1900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	300	300	300	1200

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、課題論文の得点の高い順とし、なお、同順位の場合は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

- (1) このAO入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部のAO入試及び推薦入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜との併願は可能です。
- (3) 本学のAO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜と併願している場合は、AO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

推薦入試道北・道東特別選抜（医学科）

1. 趣旨

本学は、道北・道東地域における高度先端医療の提供と医療過疎の解消を期待し、設置された医療系単科大学です。この趣旨を踏まえて、本学の教育の理念で「地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献する医療者を育てる。」ことを掲げ、地域医療に根ざした医療人を育成することを使命としています。北海道は札幌・旭川市周辺に医師が集中し、道北・道東地域では医療過疎が進む医師の偏在が社会的な問題となっています。この入試では、道北・道東等の出身者で、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（平成31年3月までに卒業見込みの者を含む。）^{*1}で、平成31年度大学入学選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 生まれ育った地域^{*2}が、北海道の上川中部を除く^{*3}道北、道東^{*4}並びに北空知及び中空知^{*5}（以下「当該地域」という。）に該当し、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲がある者
- (2) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.3以上^{*6}の者で、人物・学力ともに優秀かつ健康であり、学校長が責任を持って推薦できるもの
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (4) 出願時に「地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書(P19)」を提出できる者

^{*1} 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

^{*2} 生まれ育った地域とは、志願者が小学校、中学校又は高等学校等のいずれかにおいて教育を受けた経験のある地域で、かつ、父母等（特別な事情がある場合は、祖父母等の保護者）が平成30年11月1日現在で継続して3年以上居住している地域をいう。

^{*3} 上川中部とは、旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、鷹栖町、比布町、愛別町、当麻町及び上川町をいい、二次医療圏として上川中部全体では、人口10万人当たりの医師数が全道平均を上回っているため、除外する。

^{*4} 道北、道東とは、宗谷、上川、オホーツク、釧路及び十勝の各総合振興局並びに留萌及び根室の各振興局をいう。

^{*5} 中空知とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町及び雨竜町の各市町をいう。

^{*6} 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 推薦人員

本人の強い意欲に基づく学校長推薦とし、学校長が推薦できる人数に制限はありません。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、志望理由書、調査書、課題論文試験及び面接試験によって受験者の能力、当該地域における医療に貢献する強い意欲及び適性等を総合的に審査し、判定します。ただし、平成31年度大学入試センター試験を課し、本学の定める基準の75%（合計点900点中675点）以上であった者を選抜の対象とします。（大学入試センター試験は、選抜の対象にするか否かの判定のみに用います。）

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

※集団面接は、異なる課題による面接を複数回実施します。

●配点

課題論文	集団面接	個人面接	総合点
300	300	300	900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、課題論文の得点の高い順とし、なお、同順位の場合は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この推薦入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 国公立大学・学部への推薦入試の出願は、1つの大学・学部等に限られています。
- (3) 他の国公立大学・学部のAO入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試北海道特別選抜との併願は可能です。
- (4) 本学のAO入試北海道特別選抜と併願している場合は、推薦入試道北・道東特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

一般入試（看護学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（次のア～カの一に該当する者）

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

※出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間開始の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、個別学力検査等を受験することはできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 理科について、「基礎を付した」科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」）の中から2科目の選択としますが、「基礎を付していない」科目（「物理」、「化学」、「生物」）の中から選択した場合は、「基礎を付した」科目とみなして利用します。また、「基礎を付した」2科目と「基礎を付していない」科目を受験した場合は、「基礎を付した」2科目の成績を用います。
- (6) 一般入試出願受付後に、本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等の受験はできません。
- (7) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、平成31年度大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、平成31年度大学入試センター試験の成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入試センター試験の試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般入試受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般入試受験票を送付します。

※第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入試センター試験の配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

※合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
小論文	採点評価基準	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等		合計点
国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	
100	100	100	100	100	300	100	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	採点評価基準	口頭表現力、意欲等を問う

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等		合計点
国語	地歴公民	数学	理科	外国語	面接		
100	100	100	100	100	300		800

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

推薦入試（看護学科）

1. 趣旨

本学では、他者を思いやる心を持ち、看護学に関する勉学意欲が特に強い学生を教育し、将来はその専門分野における実務・指導に携わる看護職者に育成したいと考えています。

そのためこの選抜では、現在、高等学校等で学んでいる生徒の中から、学校長が上記の趣旨に沿っていると責任を持って推薦する者の中から選抜を行います。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*1}の者で、人物・学力ともに優秀でかつ健康である者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていると学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 看護学に関する勉学意欲が特に強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

^{*1} 「評定平均値」は、第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）までのものとする。

3. 推薦人員

高等学校長又は中等教育学校長が推薦できる人数は、1校につき2名以内とします。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、調査書、自己推薦書及び面接試験によって受験者の能力及び適性等を総合的に審査し、判定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

●配点

集団面接	個人面接	総合点
600	300	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

国公立大学・学部への推薦入試の出願は、1つの大学・学部等に限られています。

私費外国人留学生入試（医学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、日本国籍を有しない者、かつ、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者、又は本学入学に際し在留資格を「留学」に変更できる者で、次の基礎資格及び出願要件を満たしているものとします。

なお、日本国の永住許可を得ている者は出願できません。

●基礎資格

次の①又は②のいずれかに該当する者とします。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者で日本の高等学校又は中等教育学校における後期教育課程を履修し、かつ、卒業（見込みを含む。）した者については、私費外国人留学生としてではなく、一般入試（前期・後期）に出願してください。
- (2) 上記①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者」とは、外国において、最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成30年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）のそれぞれの得点率が80%以上、かつ、理科2科目と数学の得点が、それぞれの科目の平均点以上であること。

●平成30年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理科	物理、化学、生物から2科目選択
数学	コース2

※出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入試センター試験を免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成30年度日本留学試験」の成績並びに本学が行う学力検査（数学、外国語）及び面接（基礎学力の試問を含む。）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。ただし、個別学力検査等の科目別成績が一般入試受験者の平均点を下回っている場合は、合格候補者から除外されます。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数学	出題範囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
外国語	出題範囲	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ
個人面接	採点評価基準	基礎学力の試問を含む

※数学Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

●配点

数学	外国語	個人面接	総合点
100	100	150	350

私費外国人留学生入試（看護学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、日本国籍を有しない者、かつ、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者、又は本学入学に際し在留資格を「留学」に変更できる者で、次の基礎資格及び出願要件を満たしているものとします。

なお、日本国の永住許可を得ている者は出願できません。

●基礎資格

次の①又は②のいずれかに該当する者としてします。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者で日本の高等学校又は中等教育学校における後期教育課程を履修し、かつ、卒業（見込みを含む。）した者については、私費外国人留学生としてではなく、一般入試（前期・後期）に出願してください。
- (2) 上記①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者」とは、外国において、最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成30年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）の得点が、それぞれの科目の得点率で80%以上、かつ、理科2科目と数学の得点が、それぞれの科目の平均点以上であること。

●平成30年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理科	物理、化学、生物から2科目選択
数学	コース1又はコース2

※出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入試センター試験を免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成30年度日本留学試験」の成績並びに本学が行う学力検査（数学、外国語）及び面接（基礎学力の試問を含む。）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。ただし、個別学力検査等の科目別成績が一般入試受験者の平均点を下回っている場合は、合格候補者から除外されます。
また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	採点評価基準	
小論文	採点評価基準	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
個人面接	採点評価基準	基礎学力の試問を含む

●配点

小論文	個人面接	総合点
300	100	400

参考

1. 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする入学者との事前相談

疾病・負傷や身体障がいのために、回答方法、試験室、座席及び所持品等について、特別な配慮を希望する方は、出願期間開始の2週間前までに、申請書（様式任意）に医師の診断書等を添付して申し出てください。申し出内容を確認の上、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。

また、入学後の学習や学生生活などについては通年で相談にに応じています。

【申請書の記載内容例】

- (1) 病気・負傷や障がい等の種類・程度
- (2) 受験上特別な配慮を希望する事項
- (3) 修学上特別な配慮を希望する事項
- (4) 高等学校等でとられていた特別措置
- (5) 日常生活の状況

2. 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報は「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「旭川医科大学個人情報管理規程」に基づき、次のとおり、個人情報の保護に万全を期しています。

また、入学試験にかかる出願書類等及び入学に必要な関係書類が、志願者から提出された時点で、以下の内容について志願者本人から同意を得たものとみなします。

- (1) 入学志願者から得られた出願書類等に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜、入学後の学籍管理等諸業務、入学者選抜方法にかかる調査・研究及びこれらに関連する業務を行うために利用します。
- (2) (1)の個人情報のうち入学手続を完了した者の情報を、本学学生会及び同窓会等からの連絡に使用します。また、医学科AO入試及び推薦入試で提出された「卒後臨床研修確約・確認書」については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、各入試区分での合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に伝達されます。

3. 入試過去問題の活用

- (1) 本学は、アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）を実現するため、必要な範囲において、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。
<http://www.nyushikakomon.jp>

4. 一般入試合格者の最高・最低・平均点

●平成30年度入学者選抜

学科	区分	配点	最高点	最低点	平均点	
医学科	前期日程	大学入試センター試験	550	490.5 (89.2%)	424.1 (77.1%)	454.7 (82.7%)
		個別学力検査等	350	295.0	216.0	244.9
		合計	900	764.8	678.6	699.6
	後期日程	大学入試センター試験	550	503.7 (91.6%)	455.9 (82.9%)	473.8 (86.1%)
		個別学力検査等	350	315.0	220.0	255.8
		合計	900	770.9	717.2	729.6
看護学科	前期日程	大学入試センター試験	500	390.8 (78.2%)	284.2 (56.8%)	336.8 (67.4%)
		個別学力検査等	400	306.7	208.7	260.7
		合計	900	676.8	559.9	597.5
	後期日程	大学入試センター試験	500	357.3 (71.5%)	294.8 (59.0%)	323.5 (64.7%)
		個別学力検査等	300	253.0	168.0	224.5
		合計	800	601.3	513.7	548.0

※ () 内は得点率

※ 小数点以下第2位を四捨五入

5. 学生募集要項の発表時期及び請求方法

●学生募集要項の発表時期

入試区分	発表時期(予定)	備考
学生募集要項(特別入試) ・AO入試国際医療人特別選抜(医学科) ・AO入試北海道特別選抜(医学科) ・推薦入試道北・道東特別選抜(医学科) ・推薦入試(看護学科)	7月下旬～8月中旬	
学生募集要項(一般入試) ・一般入試 ・私費外国人留学生入試	9月中旬～10月下旬	私費外国人留学生入試の入学願書等の出願書類は募集要項に添付されていません。 出願する場合、募集要項に従い請求してください。

●請求方法は、本学WEBサイトの「入学案内」「資料請求方法」に掲載しています。

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/nyusi/contents/request.php>



平成31年度旭川医科大学AO入試国際医療人特別選抜 国際医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、国際社会の医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学の国際医療に貢献する。

平成 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）㊟

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者_____が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、国際社会の医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学の国際医療に貢献する。

平成 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）㊟

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒業後臨床研修センター、専門医育成管理センターのプログラムを受けるものとします。

平成31年度旭川医科大学AO入試北海道特別選抜 地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒業後臨床研修センター、専門医育成管理センターのプログラムを受けるものとします。

平成31年度旭川医科大学推薦入試道北・道東特別選抜 地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）

㊞

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）

㊞

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒後臨床研修センター、専門医育成管理センターのプログラムを受けるものとします。

お問合せ先

旭川医科大学教務部入試課入学試験係
〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
TEL : 0166-68-2214 (直通) (平日9:00~17:00)



【本学WEBサイト】 <http://www.asahikawa-med.ac.jp/>
【本学入学案内】 <http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/nyusi/>